

環境・緑化部会 調査審議状況

1 「循環型のまち・生ごみリサイクル」について

(1) 生ごみアンケートの実施(回収人数:1,165人 実施期間:H23.5~7.31)

- * 生ごみの減量について、何らかの工夫しているが85%を占めていた。
- * 生ごみリサイクルしている方は、23%。その内、できた堆肥を回収して欲しい方は、14%。



堆肥を使う人、使える人が生ごみリサイクルに取り組んでいる。



できた堆肥の活用方法(必要とする人への仲介)ができれば、生ごみリサイクルへの取り組みの拡大につながるのではないか?(環境局減量推進課との勉強会開催)

(2) 生ごみリサイクルモデル事業(別紙資料3-2参照)

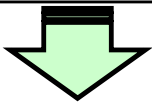
実施内容: 乾燥生ごみなどの回収、生ごみ処理機の展示など

乾燥生ごみなどは、「はぐるま工房」で完熟堆肥にして、花の苗木などを育てる際に活用

実施日: 12/24, 1/28, 2/25, 3/24(全4回)

実施場所: 区役所ロビー

できた堆肥を回収し使う方に配布する方法で環境局と協議を進めていたが、「廃棄物処理法」、「肥料取締法」に抵触するため、法律に抵触しない範囲で実施することとなった。



生ごみアンケート結果、第1回区民会議フォーラム「循環型のまち・生ごみリサイクル」の参加者アンケート結果、生ごみリサイクルモデル事業の実施結果を踏まえて調整。

(3) 提言内容の検討、取りまとめ

2 「グリーンアップ里山ボランティア」について

(1) 区の緑とその保全・管理状況の把握とモデル事業実施に向けた検討・調整

- ・道路公園センターによる候補地の選定と現地確認(4箇所)
- ・地元町内会・自治会、関係機関との調整
- ・実施箇所の決定



(2) 里山ボランティアモデル事業の実施 (別紙資料3-3参照)



(3) 今後の展開など

- * 区民会議のモデル事業としては、1回の実施で終了
- * 公募ボランティアの方へのフォローの実施
(財)川崎市公園緑地協会への情報提供を通じた、緑の保全活動への継続的参加の働きかけの実施
- * 今後、同様の取組の展開方法の検討



(4) 提言内容の検討、取りまとめ